

メインテーマ 過蓋咬合・下顎後退咬合！！

不正咬合の殆どが後天的な機能の異常、姿勢位の乱れから作られます。子どもたちに多く見られる過蓋咬合・下顎後退咬合も然りです。まずは原因を除去した上で、形態的な改善に進むべきです。次に、乳幼児期、乳歯列期に何をすべきなのか、混合歯列前期では形態的対応が始まるが どの様にすべきなのか。また、混合歯列後期になれば3DLが応用できるが どこがポイントなのか。永久歯列発育期～成人の場合はどうするのか。

過蓋咬合・下顎後退咬合を時間軸で総合的に捉え、安全で確実なしっかりとした対応を学んでいただきたく思います。

JOSG (日本一般臨床医矯正研究会) 会長 小佐々 晴夫

◎教育講演Ⅰ

生まれてから乳歯列期までの考え方

乳幼児期からの口腔機能へのアプローチの実際



JOSG 会員
清水 清恵 先生

生涯を通じて食事を美味しく食べ、会話を楽しみ、健やかに過ごすためには、健全な口腔機能の獲得と維持は欠くことのできないものと考えられる。歯科における機能へのアプローチといえば口腔筋機能療法(myofunctional therapy:MFT)が代表として挙げられる。MFTは歴史的には矯正歯科臨床上のニーズから開発され発展してきた。しかし、歯列不正が顕著に現れる以前から、口腔周囲筋機能の不調和は認められ、仕上げ磨きが困難、食べ方が遅い、汚い、流涎、うがいができないなど、生活機能に差し障る問題として当たり前のように存在していることは少なくない。現在では口腔機能発達不全症の一つとして指導の対象となっている摂食・嚥下時の舌突出癖、誤った口唇位・舌位といった口腔筋機能障害の定着、重篤化防止のために、当医院で日頃から行なっているMFTを応用した口腔機能へのアプローチの実際を本講演ではご紹介したい。

◎依頼講演

医療現場の皆様向け「働き方改革」実務対応研修



富永 剛生 先生

三井住友海上経営サポートセンター アドバイザー
中小企業診断士、社会保険労務士、CFP 認定者、1級ファイナンシャル・プランニング 技能士
東京都目黒区出身

◎教育講演Ⅱ

混合歯列期の考え方

混合歯列前期



JOSG 会長
小佐々 晴夫 先生

殆どの不正咬合に対する形態的な対応は、混合歯列前期になれば可能になってくる。過蓋咬合・下顎後退咬合に対しても然りである。狂いは可及的に早期に発見し、改善すれば、成長発育は正常化してくる。従って過蓋咬合・下顎後退咬合の原因である機能・姿勢の改善を図った上で、形態的問題の改善に取り組むべきである。今回は狭小歯列により低位舌になり、下顎後退咬合になっている症例を通して諸々の治療ポイントをお話したいと思います。

混合歯列後期



JOSG 会員
三村 善郎 先生

過蓋咬合・下顎後退咬合においては、咬合力や口唇、頬と舌の筋肉、それに伴う寝相や頬杖、口呼吸等の体の使い方が大きな要素になると思われませんが、混合歯列後期の咬合誘導についてその方針についてお話しさせていただきます。

◎教育講演Ⅲ

永久歯列期の考え方

永久歯列での考え方と治し方



JOSG 顧問
各務 肇 先生

下顎後退咬合のほとんどは、過蓋咬合を伴っている。これらは、一般に「出っ歯」とされ、上下関係はアングルのⅡ級となり、学問的には「上顎前突」とされる。ほとんどの症例でover jetが大きく、セファロ分析に頼る矯正医達は、そのjet分を入れるため、上の第一小臼歯を抜歯し、臼歯咬合をⅠ級にするため下の小臼歯も抜歯してしまう場合が多い。

我々グループの方法は、まず、筋肉位での下顎位を探し、そこで診断してから治療に入る。

それは一応ルーティンのコースにもなっている。この方法によって少しでも抜歯を回避できる。それによって、治療後の酸素摂取量も確保できる。

JOSG 日本一般臨床医矯正研究会 第39回 総会学術大会

日 時：2020年5月31日(日) 午前10時より(9時30分 受付開始)

会 場：建築会館(東京・田町)

〒108-8414 東京都港区芝 5-26-20 Tel 03-3769-2977 (当日ホール直通)

JOSG 日本一般臨床医矯正研究会 第39回 総会学術大会 FAX申込用紙

フリガナ
医院名(所属先)

ご住所 〒

どちらかに〇印をご記入下さい (勤務先・自宅)

電話番号 () - FAX 番号 () -

Eメール @

① 代表者名(振込人) 職業

② 同伴者氏名 職業

③ 同伴者氏名 職業

☆申込者数	医師・歯科医師	計(名)	参加者	円		円		円
	その他	計(名)	参加者	円	参加費	合計		円

当日会費

正会員 10,000円 特別会員・終身会員 5,000円 準会員・臨床研修医 4,000円

非会員 事前登録 12,000円(締切日4月30日) 当日 15,000円

※出欠のご連絡は、昼食の用意など、人数確認のため5月15日迄にお申込ください。

申し込み①この申込用紙又はホームページ(www.josg.jp)から申込用紙をダウンロードしていただいて
当会事務局(03-3951-4704)に必要事項ご記入の上FAXにてお申込ください。

※本申込書で1勤務先3名までお申込頂けます。3名以上の場合はこの用紙をコピーするかホームページから
申込用紙をダウンロードして当会事務局に必要事項ご記入の上FAXにてお申込ください。

※お振込確認の為に、必ず振込依頼人名を医院名と代表者名で振込をお願い致します。

※参加費を申込後1週間以内に下記口座にお振込ください。

※恐れ入りますが、振込手数料は各自ご負担願います。領収証は、振込票をもってかえさせていただきます。
振込確認ができ次第、受講票を発送させていただきます。尚、参加費の返金はいたしません。

会場案内図



建築会館(東京・港区)

- ◎JR山手線・京浜東北線 田町駅(徒歩3分)
- ◎都営地下鉄浅草線・三田線 三田駅(徒歩3分)
- ◎駐車場はございません
- ◎宿泊される方は、各自でお早めにご予約下さい。

振込先

【金融機関名】三菱UFJ銀行

【店名】深川支店

【店番】086

【貯金種目】普通

【口座番号】0541104

【口座名義】日本一般臨床医矯正研究会
にほんいっぱんりんしょういぎょうせいけんきゅうかい

【お問い合わせ先】

J.O.S.G. 日本一般臨床医矯正研究会事務局
〒171-0052 東京都豊島区南長崎5-27-2
柏ビル1F(株)筑波総合歯研内

TEL 03-3951-4702

FAX 03-3951-4704

ホームページ www.josg.jp